

財団公益法人 8020 推進財団

平成 25 年度 歯科保健活動事業助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：「ならしの生涯健口チェック」事業

2. 申請者名：習志野市歯科医師会 会長 村山 雄二

3. 実施組織：習志野市歯科医師会

4. 事業の概要：習志野市の歯科健診事業の対象外となった 81 歳以上の高齢者に対し、生涯にわたって口腔機能を含むお口の健康(健口)を維持するため、自分の現状を知ってもらい、口腔内診査の他に舌の体操や唾液腺マッサージ等を指導した。また、全身状態を保つために、かかりつけ歯科医を持つ事により口腔機能を維持できる事の大切さを啓蒙した。

5. 事業の内容：

- (1) 事業実施のための、健診票、リーフレット、実施要領等の策定のため会議を実施した。事業終了後に結果集計、傾向分析し今後にかかす方策を検討する会議を実施した。
- (2) 総会、各委員会等で、会員への説明会を実施し 67 歯科医療機関に協力を求めた。
- (3) 習志野市及び千葉県歯科医師会の後援を取り付け、習志野市の広報誌への掲載、広報リーフレットを用いて、習志野市のイベント、講習会、民間の社会福祉法人、ケアマネージャーの会合等で広報活動を行った。
- (4) 予算上の関係で、平成 25 年 9 月 1 日から 11 月 30 日までの期間限定で健診を実施した。口腔内診査、口腔機能検査の実施・結果説明及び口腔機能説明用パンフレットを用いた唾液腺マッサージ・舌体操等の指導を行った。139 件の受診があった。

6. 実施後の評価（今後の課題）：

81～84 歳男性 29 名、女性 5 2 名・85～89 歳男性 13 名、女性 29 名・90～96 歳男性 7 名、女性 9 名・計男性 49 名、女性 90 名・合計 139 名の受診があった。昨年より男性が 32 名減、女性 9 名増で合計は 23 名減であった。かかりつけ歯科医は 94.2% があり、むし歯は 30.2% があり、歯周炎は 66.9% があり、舌苔は 9.4% が中等度ありであった。かかりつけ歯科医を持つ人は高率で、昨年度より多くなったが、全員がかかりつけ歯科医を持つ事を目指したい。また、歯周炎の罹患率が下がったとはいえ、依然として高い数値であり、歯周治療や歯ブラシ指導などかかりつけ歯科医が行うことは重要と思われる。歯や口の中で気になる場所は、歯が 9.4%、歯ぐきは 15.1%、入れ歯は 23.7%、口臭は 4.3% となった。30.2% にむし歯が認められるのに、気にしている人は 9.4% なので、2/3 の人はむし歯があっても自覚症状がないのか、気にしていないことがうかがえる。義歯の適合は不適合と歯科医師が判断したのが、7.2% に対し、入れ歯が気になる人は 23.7% と高率である。本人は噛めない、痛いなど不都合が多いようであり、歯科医師による義歯の調整、修理、新製の必要性を感じる。残存歯数は 15.0、機能歯数は 26.2。口腔機能は、舌の動きは 8.6% がやや動きにくい、頬の膨らましは 3.6% が十分できない、発音は 6.5% が一部不明瞭。RSST は平均 3.5 回。どの年代でも低くはなく、飲み込む機能は日常生活を普通に送っている人は低下が少ない傾向にあるようだ。歯科医院に健診に来られる人は、それほど衰えていないことが伺える。機能歯が多い人は高齢でも元気なのは、と推測される。唾液腺マッサージや舌の体操の様にわかりやすい運動は、好評であった。リーフレットを新規に作成したが、受診率は 2.1% と低く、次年度はより広報活動を行い、受診率を上げていきたいと思います。

今後さらに実績を積み重ね、将来的に行政の事業へと移行することを目標としたいと考える。

